

**ELMO**

データプロジェクター

形名

**EDP-XD205R**

取扱説明書

はじめ

映像を見る

設定・調整する

その他

**DATA**  
PROJECTOR



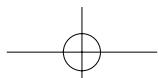
このたびはデータプロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。

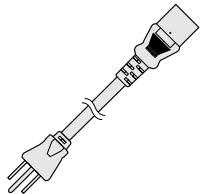
製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。



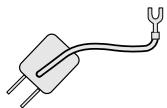
# 付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する (このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。)

## ■ 電源関係

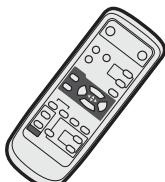


電源コード

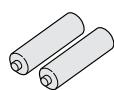


変換アダプタ

## ■ リモコン関係

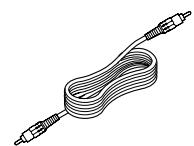


リモコン

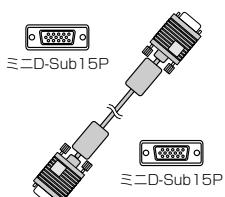


単三乾電池(2本)

## ■ 映像関係



VIDEOケーブル



RGB信号ケーブル

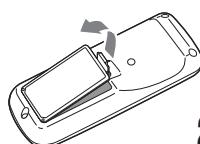
## ■ その他

- レンズキャップ
- 取扱説明書／クイックスタートアップ
- 保証書
- ソフトキャリングケース

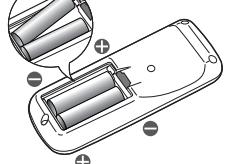
- 付属の電源コード、変換アダプタは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

## リモコンに乾電池を入れる

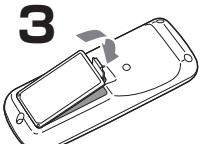
1



2



3



### 1 リモコン裏面のフタをはずす

### 2 乾電池の(+)、(-)をよく確かめて、(-)側から正しく入れる

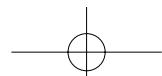
- 乾電池を(+)側から入れると、(-)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。

### 3 裏面のフタを付ける

- 乾電池は、単三乾電池(AA)を2本お使いください。
- リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

## △ 注意

- 電池は、7ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります(電池に表示されている注意事項もお読みください)。
- このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
- 本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
- J55022 クラス B装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のRGB信号ケーブルをご使用ください。
- 本機は必ず接地してください。



# もくじ

はじめに	安全のために必ずお守りください 各部のなまえ 本体のなまえ リモコンのなまえ リモコンの使いかた	4~7 8,9 8,9 9 10
映像を見る	コンピュータの映像を見る A. コンピュータと接続する B. 電源コードを差込む C. 投写する プレゼンテーションを演出する リモコンをコンピュータのページアップ・ダウンキーとして使う (ページアップ・ダウン) 映像と音声を一時的に消す(AVミュート) ビデオ機器の映像を見る A. ビデオ機器と接続する B. 電源コードを差込む C. 投写する	11~15 11 12 12~15 16 16 17~19 17 18 18,19
設定・調整する	メニューを使って設定する メニュー遷移図 メニュー設定のしかた メニューで設定できること 映像を調整する 映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト) 白の色合いを調整する(色温度の詳細設定) 色を調整する(色の濃さ、色合い) 映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス) コンピュータ映像の調整	20~23 20 21 21~23 24,25 24 24 24 24 24~25
その他	パスワードを設定する 設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた 光源ランプを交換する 故障かなと思ったら 索引 端子について 仕様 別売品 接続できる信号の種類 保証とアフターサービス インジケーターの見かた	26 27 28,29 30,31 32 32 33,34 33 34 35 35 裏表紙

はじめに

映像を見る

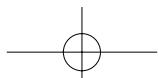
設定・調整する

その他

もくじ  
リ付属品を確認する  
モコンに乾電池を入れる

## 著作権について

- 本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- アスペクト比の切り換えについて
  - ・ 本機はアスペクト比切り換え機能(19ページ)を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
  - ・ 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。



# 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
-----------	---	-----------	-------------------------------------

■図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行かないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください	絶対に水にぬらさないでください
絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

## !**警告**

### 故障したまま使用しない

#### 万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

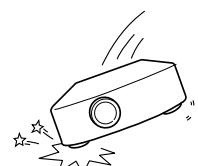
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

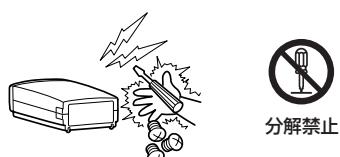


使用禁止

火災や感電の原因となります。

### 次のようなことはしない

#### キャビネットをはずしたり、改造しない

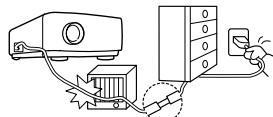


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

#### 電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- じゅうたんなどの下にひかない
- ねじらない
- 加工しない



禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

#### 内部に異物を入れない



禁止

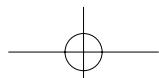
金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

#### 花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。



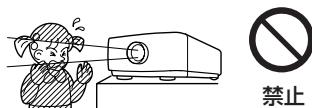
はじめに

安全のために必ずお守りください

## ⚠ 警告

### 次のようなことはしない(つづき)

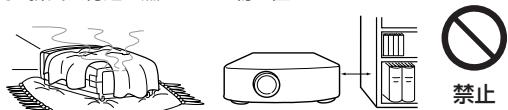
#### レンズをのぞかない



光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

#### 吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない(壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

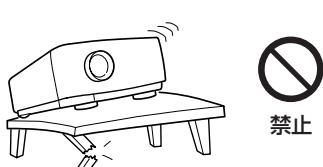
#### 使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になりますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。



### 次のような場所に置かない

#### 不安定な場所には置かない



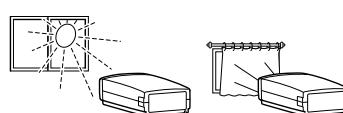
(特に上下逆さまに置いた状態で)ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

#### ソファー、椅子などの上に置かない



吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

#### 直射日光の当たる場所に置かない レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



火災や故障の原因となります。



### その他

#### 正しい電源電圧で使う



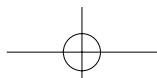
交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

#### 可燃性の溶剤(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを近くで使用しない。



禁止

ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。



# 安全のために必ずお守りください(つづき)

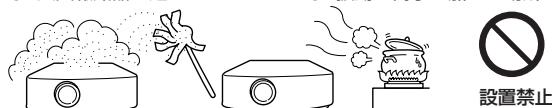
## ! 注意

### 次のような場所には置かない

#### 設置時は、次のような場所には置かない

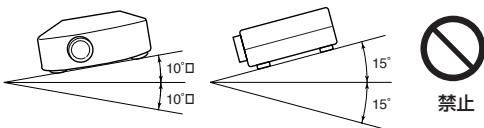
- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所



設置禁止

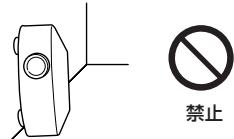
#### 傾けた状態で動作させない



禁止

傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

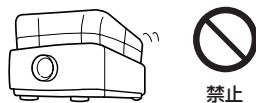
#### 立てた状態で置かない



禁止

倒れて、けがや故障の原因となります。

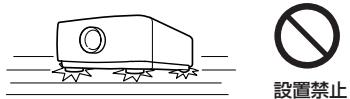
#### 重いものを置かない、踏み台にしない



禁止

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

#### ワックスのかかった床に直接置かない



設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

### 電源コード・プラグについて

#### 接続したまま移動させない



禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

#### 電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取り

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかりと差し込まれているか点検してください。

#### 電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

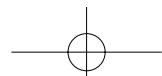
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

#### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

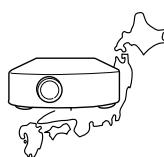
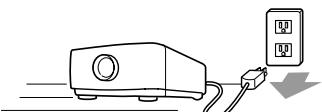
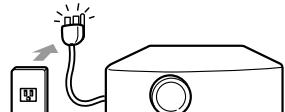


## ⚠ 注意

### 乾電池の取り扱いについて

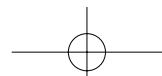
新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。	 禁止	分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。  禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>乾電池は、(一)側から入れてください。乾電池を(+)側から入れると、(-)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れるとき乾電池の外装ラベルが剥れて、ショートして発熱する恐れがあります。</li><li>使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。</li><li>乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。</li><li>使用済みの電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。</li><li>電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。</li></ul>
プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる。  正しく入れる	 正しく入れる	乾電池を充電しない。 充電式の電池は使用しない。  禁止	

### その他

1年に一度は内部の掃除を依頼する	  内部掃除	このデータプロジェクターは日本国内専用です   日本専用
ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく	  プラグを抜く	お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う   プラグを抜く
製品使用中は排気口をのぞき込まない	 禁止	排気口、底板は熱くなりますので触れないこと  接触禁止

はじめに

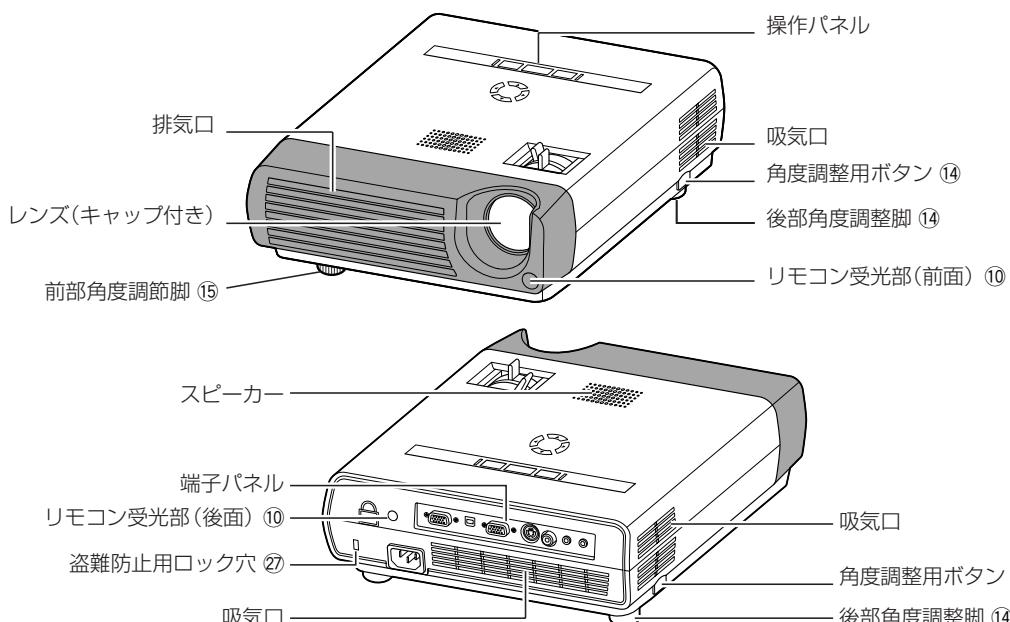
安全のために必ずお守りください



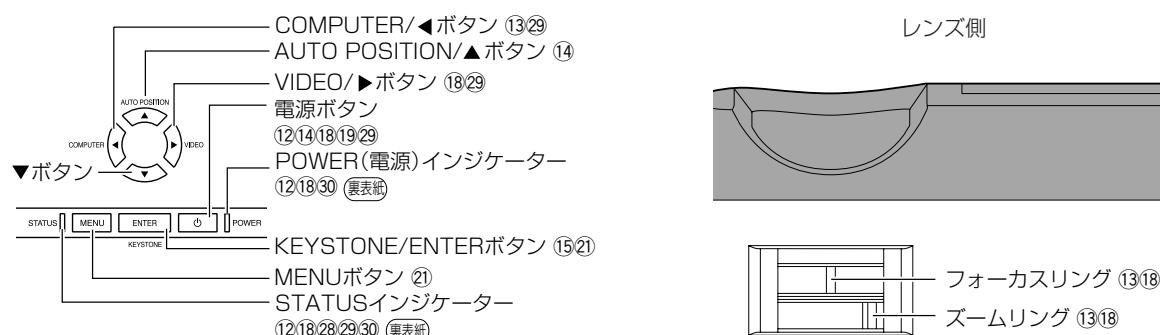
# 各部のなまえ

本体のなまえ (○は参照ページ)

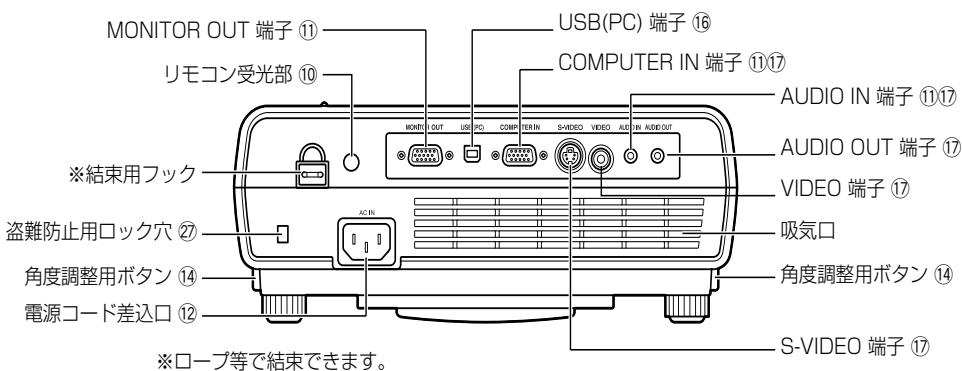
## 本体

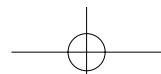


## 操作パネル(天面)

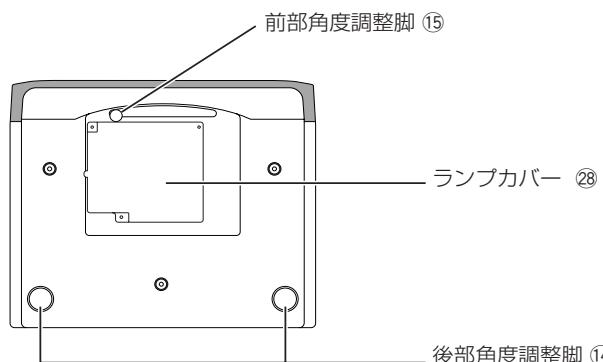


## 端子パネル部





## 底面部



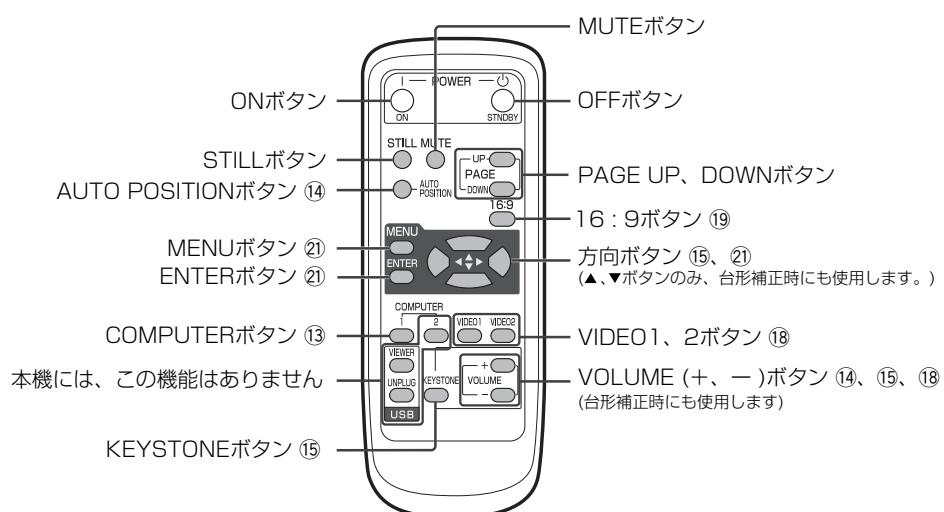
## 注意

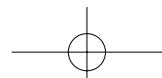
使用した直後、光源ランプは高温になっていますので交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

はじめに

各部のなまえ

## リモコンのなまえ (○は参照ページ)

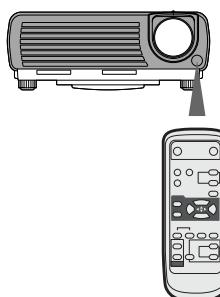




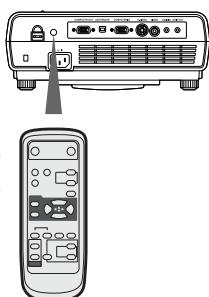
# リモコンの使いかた

## ワイヤレスリモコンとして使う

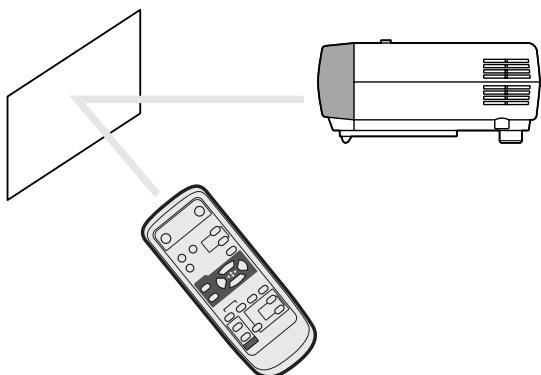
本体前面



本体背面



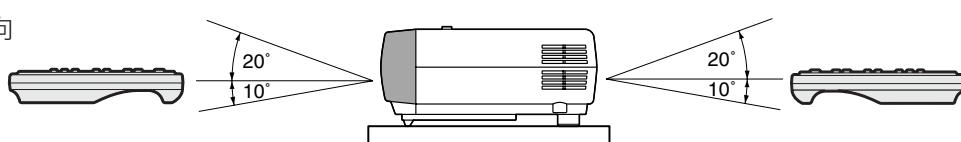
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらぬようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。



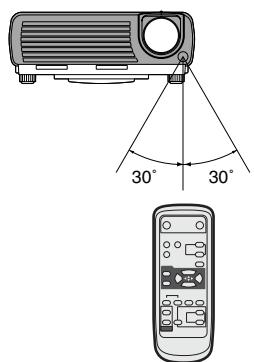
- スクリーンに向けて操作する場合は、リモコンからスクリーンを通して本機までの合計距離が約5m以内にします。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

## 操作範囲

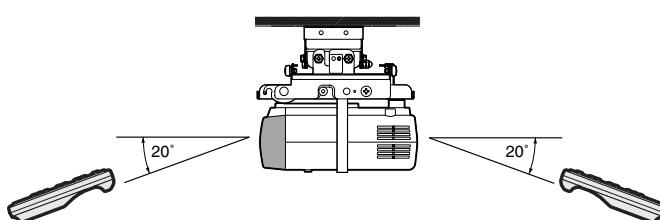
上下方向

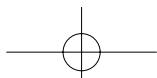


左右方向



上下方向(天吊り時)





# コンピュータの映像を見る

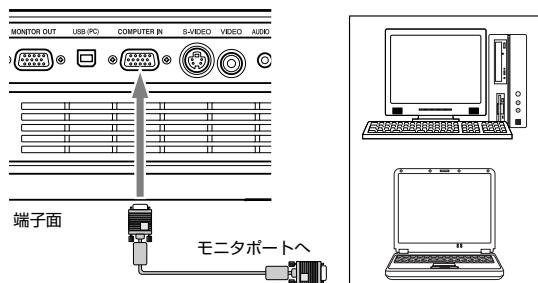
## A. コンピュータと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

### 準備

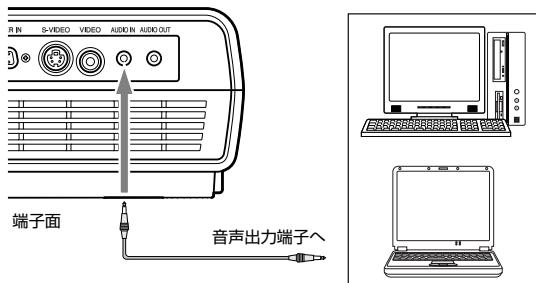
- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプの場合、モニタに接続されているRGB信号ケーブルをはずす

### アナログRGB(ミニD-Sub15ピン)端子付 きコンピュータと接続する



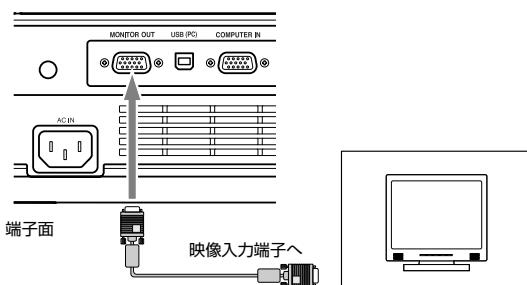
- 付属のRGB信号ケーブルを本機のCOMPUTER IN端子に接続する
- コンピュータのモニタポートにRGB信号ケーブルのもう一方を接続する
  - 接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。
  - 付属のRGB信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると正常に映像が映らないことがあります。
  - 本機のCOMPUTER IN端子はDDC1/2Bに対応しています。この規格に対応したコンピュータと接続した場合、コンピュータが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。

### コンピュータの音声をプロジェクターから 出力する



- 1 PC音声ケーブル(市販)を本機のAUDIO IN端子に接続する
- 2 PC音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続する
  - 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです(ただし、スピーカー出力はモノラルになります)。接続するコンピュータの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。

### プロジェクターの投写映像をモニタで見る (デスクトップのみ)

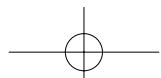


- 1 モニタに接続されているRGB信号ケーブルを本機のMONITOR OUT端子に接続する
  - 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。

はじめに

映像を見る

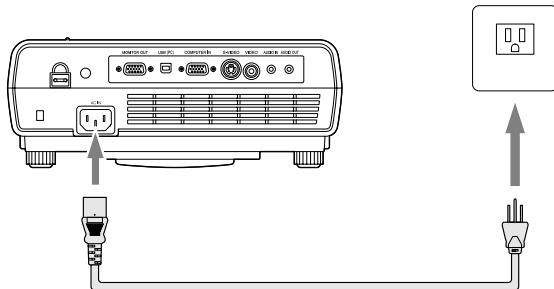
リモコンの使いかた  
コンピュータの映像を見る



# コンピュータの映像を見る(つづき)

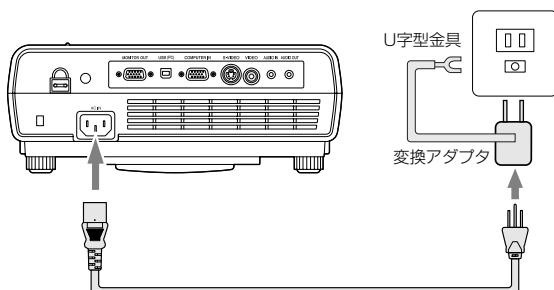
## B. 電源コードを差込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いている場合



- 1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口中に接続する
- 2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いていない場合



- 1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口中に接続する
- 2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプタを取り付ける
- 3 変換アダプタのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する
  - 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
  - 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。
- 4 変換アダプタを電源コンセントに差し込む
  - 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
  - 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。

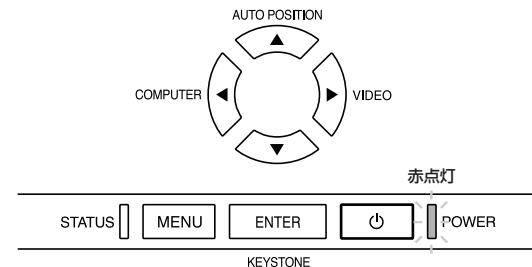
## C. 投写する

### 準備

- レンズキャップをはずす
- コンピュータの電源を入れる

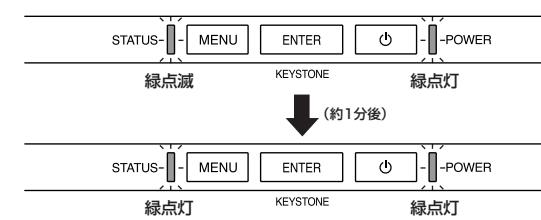
### 電源を入れる

- 1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



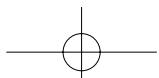
- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

- 2 本体の電源ボタン(□)またはリモコンのONボタンを押す



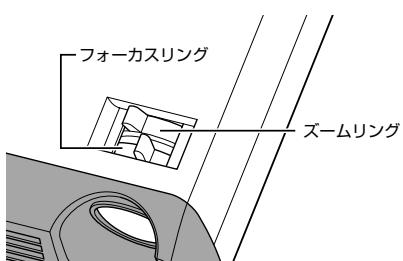
電源「切」の操作はできません。

- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(□)またはリモコンのONボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合、約1分で「低」モードに切換わります。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。



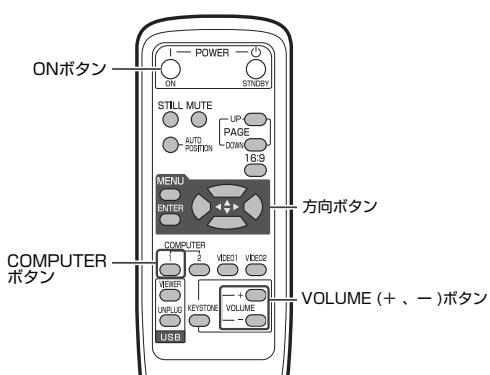
## ピントを調整する

- 3 フォーカスリングを回してピントを調整する



## 入力を切換える

- 4 リモコンのCOMPUTERボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押す



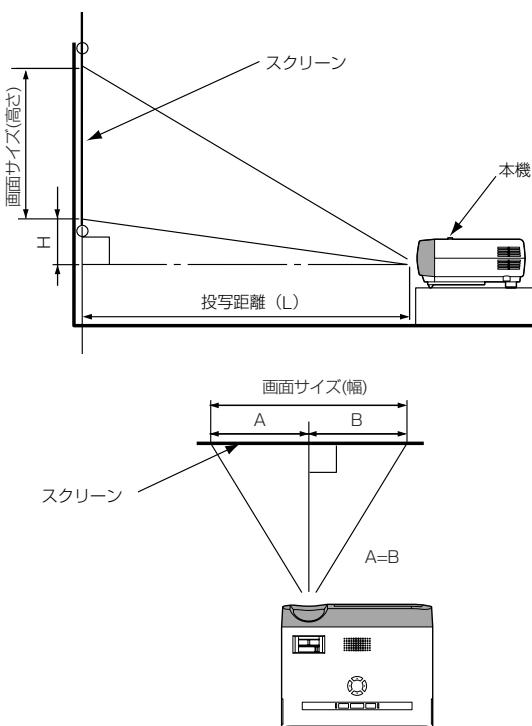
- ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは14ページをご覧ください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。

## 設置する

- 5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する
- スクリーンから本機までの距離は、下の表を目安にして設置してください。
- 6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する
- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(14ページ参照)。
- 7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する  
必要に応じて、操作③～⑦の設定は微調してください。

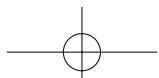
(形)	画面サイズ		投写距離:L		高さ:H	
	幅(cm)	高さ(cm)	最短(m)	最長(m)	最小(cm)	最大(cm)
40	81	61	1.3	1.5	8.8	27.2
60	122	91	1.9	2.3	13.3	40.1
80	163	122	2.6	3.1	17.7	54.4
100	203	152	3.2	3.8	22.1	67.3
150	305	229	4.8	5.8	33.2	101.0
200	406	305	6.4	7.7	44.2	134.6
250	508	381	8.0	9.6	55.3	168.3
300	610	457	9.6	—	66.3	201.9

● 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。



映像を見る

コンピュータの映像を見る



# コンピュータの映像を見る(つづき)

## 音量を調整する

- 8 VOLUME(+または-)ボタンを押して音量を調整する
- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

## 電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

- 9 本体の電源ボタン(○)またはリモコンのOFFボタンを押す

「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクリーリングしてください」のメッセージが表示されます。

- この状態を解除するには、電源ボタン(○)またはリモコンのOFFボタン以外のボタンを押してください。または10秒後にメッセージは消えます。

- 10 本体の電源ボタン(○)またはリモコンのOFFボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

- 11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

- 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸／排気ファンによる冷却が必要です。
- STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

- 12 電源プラグをコンセントから抜く

POWERインジケーターが消灯します。

## ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例  
「Fn」キー+「F1」～「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す。

## AUTO POSITIONボタンについて

コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

- できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。
  - スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
  - AUTO POSITIONボタンを押す。  
入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。
- 数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、詳細設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください(25ページ参照)。

## 後部角度調節脚で投写角度を調整する

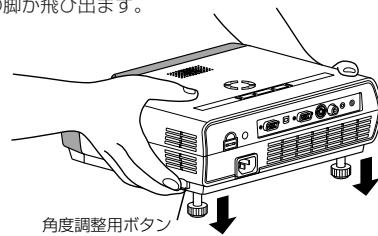
投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するか、または投写角度を以下のようにして調整してください。

- 1 本体の後部を投写させたい角度まで持ち上げる

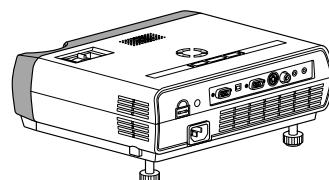
- 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(後部角度調整脚のみによる角度調整角は、最大7°になります)。

- 2 左右の角度調整用ボタンを中心方向へ押す

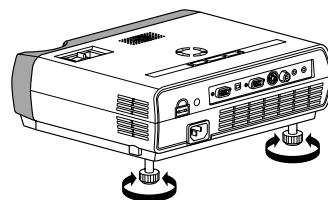
- 2つの脚が飛び出ます。



- 3 角度調整用ボタンおよび本体から手を離す

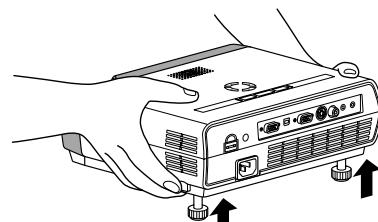


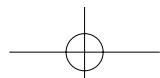
- 4 後部角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように微調整する



## 後部角度調整脚を収納するときは

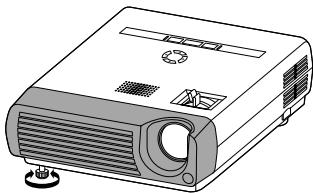
- 5 本体を手で支えながら左右の角度調整用ボタンを中心方向へ押してゆっくり本体を降ろす





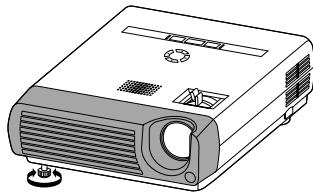
### 前部角度調整脚で投射角度を調整する

- 1 本体の前部を投射させたい角度まで持ち上げる
  - 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(前部角度調整脚のみによる角度調整角は、最大8°になります)。
- 2 前部角度調整脚を左右に回して画面が水平になるように微調整する



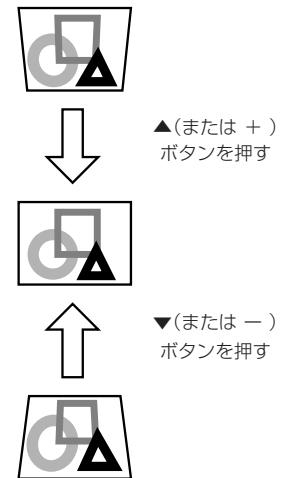
### 前部角度調整脚を収納するときは

- 3 前部角度調整脚を左右に回して収納する



### 画面が台形にひずむときは

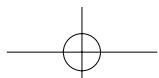
スクリーンと本機が直角になっていないと画面が台形になります。本機、およびスクリーンを調整しても直角にならないときは本体、またはリモコンのKEYSTONEボタンを押して「台形補正」を表示させてから、本体の▲、▼ボタンまたはリモコンの+（または▲）、-（または▼）ボタンを押して調整します。



映像を見る

コンピュータの映像を見る

- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 調整時に表示される調整値は、設置状態により調整範囲が異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、アスペクト比が4:3にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がり等の現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。
- メニュー上で「スクイーズ」を「ON」に設定、もしくはリモコンのキーにより画面のアスペクト比を「16:9」に設定している場合には、台形補正（キーストン）は操作できません。（禁止マークが表示されます。）

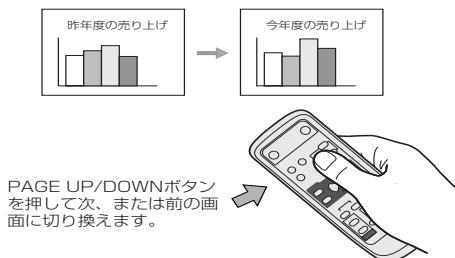


# プレゼンテーションを演出する

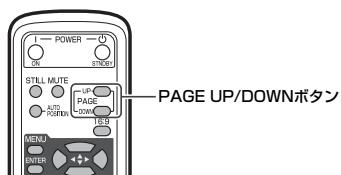
プレゼンテーションを行う上で、便利な使い方を紹介します

## リモコンをコンピュータのページアップ・ダウンキーとして使う(ページアップ・ダウン)

本機のリモコンでコンピュータの操作が行えるので、プレゼンテーションの画面を進めたり、もどしたりすることができます。

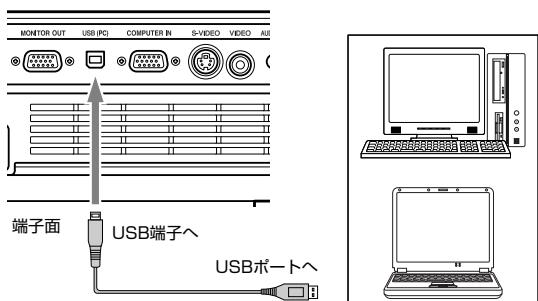


## ページアップ・ダウンとして使用するボタン



## USBポート付き機種との接続

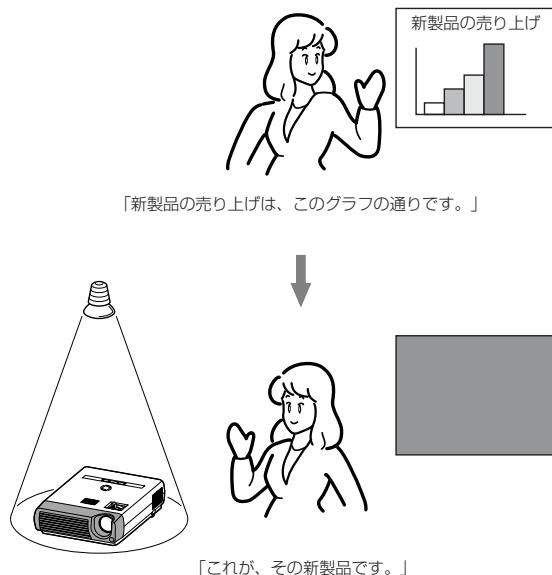
USBケーブルは、別途お買い求めください。



- USB接続して「Page up/down」できるのはUSBを標準でサポートしているパソコンのみです。
- USBケーブルは本機の光源ランプが点灯してから接続してください。

## 映像と音声を一時的に消す(AVミュート)

スピーチやプレゼン映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことが出来ます。

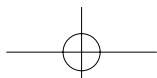


## 操作のしかた

### 1 リモコンのMUTEボタンを押す

映像が真っ暗になり、音声が消えます。

- もう一度MUTEボタンを押すと、通常画面にもどります。



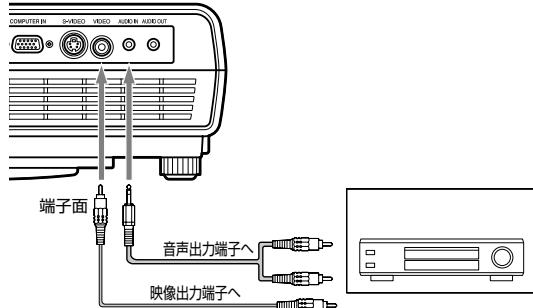
# ビデオ機器の映像を見る

## A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

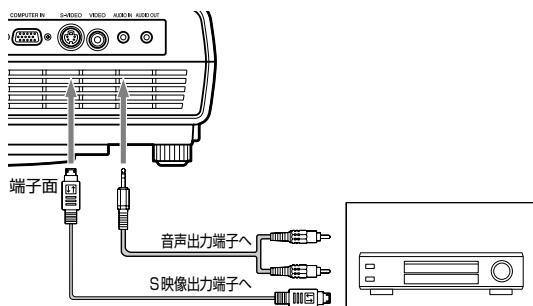
### 準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



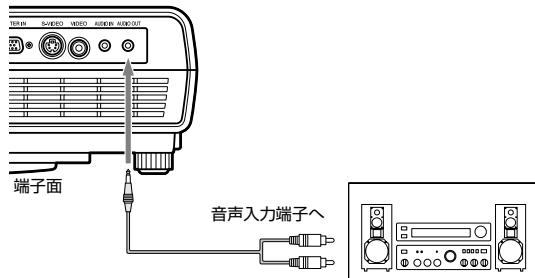
- 本機のVIDEO端子に付属のビデオケーブルの黄色のプラグを接続する
- ビデオ機器の映像出力端子にビデオケーブルのもう一方の黄色のプラグを接続する
- 本機のAUDIO IN端子に市販のオーディオケーブルのミニジャックプラグを接続する
- ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

### S映像出力端子付きビデオ機器と接続する



- 本機のS-VIDEO端子に市販のSビデオケーブルを接続する
- ビデオ機器のS映像出力端子にSビデオケーブルのもう一方を接続する
- 本機のAUDIO IN端子に市販のオーディオケーブルのミニジャックプラグを接続する
- ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

外部スピーカからプロジェクターに接続している機器の音声を出すときは



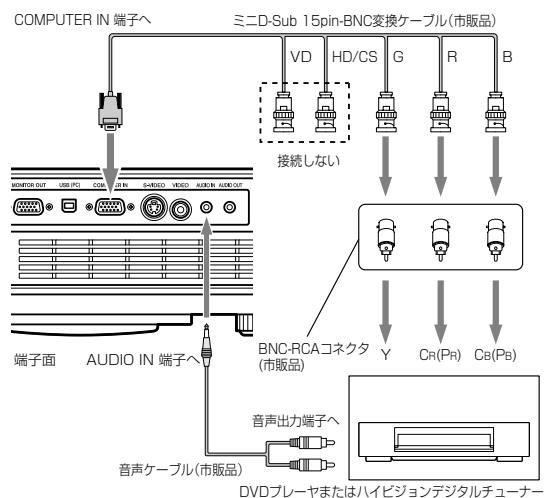
- 市販の音声ケーブルを本機のAUDIO OUT端子に接続する  
● このとき、内部スピーカーからの音声は出力されなくなります。
- 外部スピーカーと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

AUDIO OUT端子からの音声について

- MUTEボタンを押すと音声が消えます。
- VOLUME(+または-)ボタンを押すと音量が変わります。

### DVDプレーヤまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

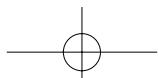
DVDプレーヤ、またはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER IN端子に接続します。



- 接続はミニD-Sub 15pin-BNC変換ケーブルを使用ください。DVDプレーヤとの接続にはBNC-RCAコネクタが必要となります。
- DVDプレーヤ、およびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R, G, B出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。

映像を見る

ビデオ機器の映像を見る  
プレゼンテーションを演出する



# ビデオ機器の映像を見る(つづき)

## B. 電源コードを差込む

「コンピュータの映像を見る」と同じです。12ページをご覧ください。

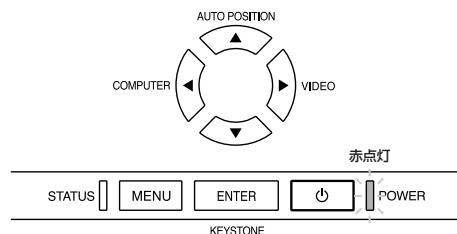
## C. 投写する

### 準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

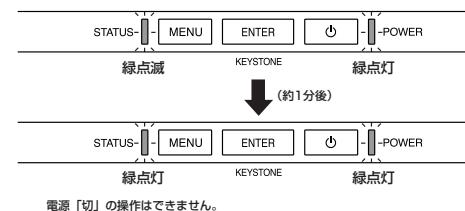
### 電源を入れる

- 1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

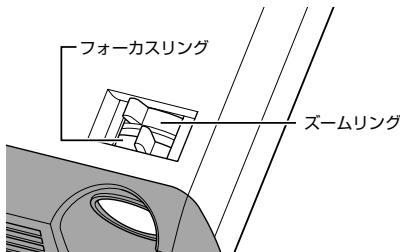
- 2 本体の電源ボタン(○)またはリモコンのONボタンを押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(○)またはリモコンのONボタンを押したあと、または、ランプモードが切換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合、約1分で「低」モードに切替わります。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。

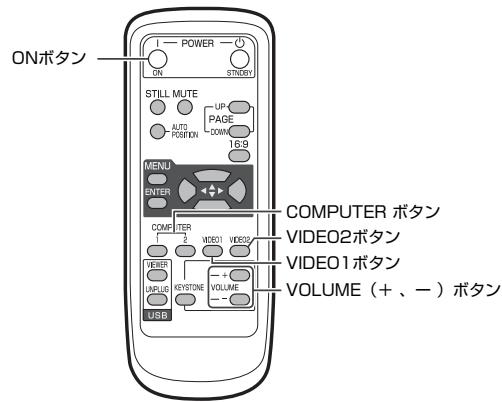
### ピントを調整する

- 3 フォーカスリングを回してピントを調整する



### 入力を切換える

- 4 リモコンのVIDEO1(または2)ボタンまたは本体のVIDEOボタンを押す



- 本体のVIDEOボタンを押すごとに「VIDEO(1)」→「S-VIDEO(2)」→「VIDEO(1)」と切替わります。
- COMPUTER IN 端子で接続しているDVDプレーヤやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、COMPUTERボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。

### 設置する

- 5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、13ページの表を目安にして設置してください。

- 6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(14ページ参照)。

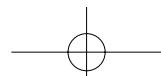
- 7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

必要に応じて、操作③～⑦の設定は微調してください。

### 音量を調整する

- 8 VOLUME( + または - )ボタンを押して音量を調整する

- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。



## 電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

### ⑨ 本体の電源ボタン(○)またはリモコンのOFFボタンを押す

「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクリーニングしてください」のメッセージが表示されます。

- この状態を解除するには、本体の電源ボタン(○)またはリモコンのOFFボタン以外のボタンを押してください。または10秒後にメッセージは消えます。

### ⑩ 本体の電源ボタン(○)またはリモコンのOFFボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

### ⑪ STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

- 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸／排気ファンによる冷却が必要です。
- STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

### ⑫ 電源プラグをコンセントから抜く

POWERインジケーターが消灯します。

映像を見る

ビデオ機器の映像を見る

## 静止画について

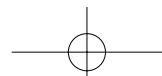
リモコンのSTILLボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もう一度押すと通常画面にもどります。

- 音声は通常どおり聞こえます。
- 静止画中にSTILLボタン以外のボタンを押しても通常画面にもどります(一部、もどらないボタンもあります)。
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

## アスペクト比切り換え機能について (16:9ボタン)

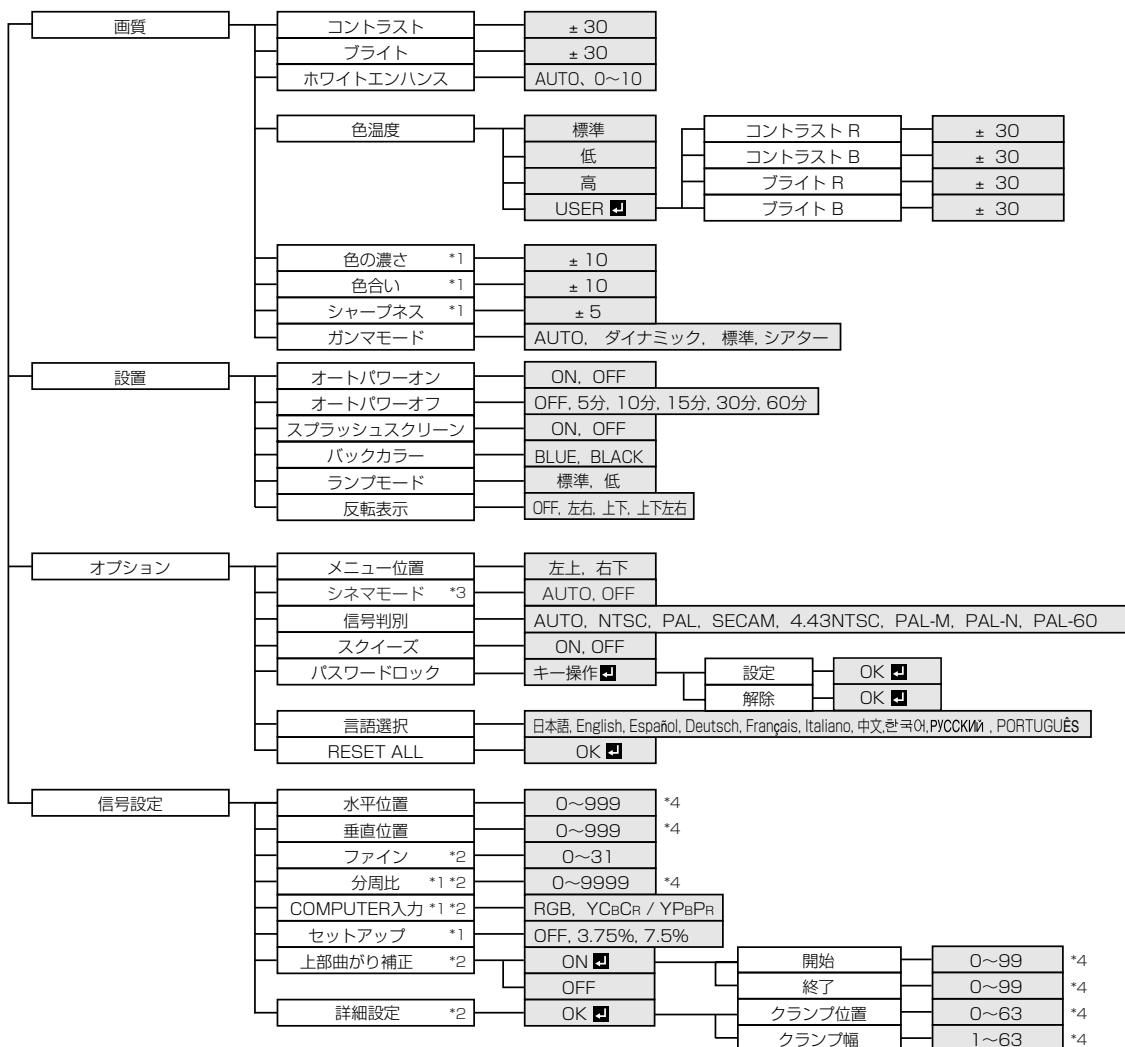
スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときに16:9ボタンを押すと、元の16:9の横長画面で表示されます。もう一度押すと通常画面にもどります。

- 長時間横長画面で使用された後、4:3表示で使用されると、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る場合があります。このような場合には販売店にご相談ください。
- 台形補正時(値が「0」以外に設定の場合)は、本機能は操作できません。



# メニューを使って設定する

メニュー遷移図



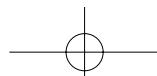
\*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。

\*2: VIDEO IN, S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。

\*3: TV60, TV50, 480i, 576iの信号入力時のみ選択できます。

\*4: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。

- メニュー画面上の「■」マークのある項目は、確定するためには項目を選んでからENTERボタンを押す必要があります。



## メニュー設定のしかた

画面はオートパワーオフの時間設定を例として説明しています。

### 1 MENUボタンを押す

- メニュー選択バーが表示されます。



### 2 ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選択



### 3 ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

- 希望のメニューが表示されます。



### 4 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ



### 5 ◀、▶ボタンを押して設定する



## メニューを消すときは

### 6 MENUボタンを数回押す

- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- 画質メニュー、信号設定メニュー、および詳細設定メニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のみおこなえます。
- 設定項目の文字が白抜きの場合、何らかの制約により本項目が設定できないことを示しております。項目の選択もできません。

設定・調整する

メニューを使って設定する

## メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

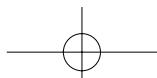
### 画質メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
コントラスト	-30 ~ +30	映像のコントラストを調整します (24ページ参照)。
ブライ特	-30 ~ +30	映像の明るさを調整します(24ページ参照)。
ホワイトエンハンス	AUTO、0 ~ 10	映像に含まれる白色の度合いを調整します。
色温度	標準、低、高、USER	映像の色温度を調整します (24ページ参照)。
色の濃さ	-10 ~ +10	映像の色の濃さを調整します(24ページ参照)。
色合い	-10 ~ +10	映像の色合いを調整します(24ページ参照)。
シャープネス	-5 ~ +5	映像の鮮銳度を調整します(24ページ参照)。
ガンマモード	AUTO	入力信号に合わせて、ガンマモードを設定します(通常はこれを選びます)。
	ダイナミック	コンピュータ映像に適した設定になります。
	標準	ビデオ映像に適した設定になります。
	シアター	映画、音楽ライブを見るときなど比較的輝度を抑えたいとき選びます。

- TV50(PAL、SECAM)信号入力時は色合いの調整はできません。





# メニューを使って設定する(つづき)

## 設置メニュー

設定項目	設定	はたらき
オートパワーオン	OFF ON	通常はこれを選びます。 電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります、天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF 5分、10分、15分、30分、60分	オートパワーオフは、はたらきません。 映像信号が未入力のとき設定した時間になると自動的に電源が切れます。
スプラッシュスクリーン	ON OFF	電源を入れたときスプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。 スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示しません。
バックカラー	BLUE、BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
ランプモード	標準 低	通常はこれを選びます。 ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
反転表示	OFF 左右 上下 上下左右	床置きで正面から映像を見るとときに選びます、通常はこれを選びます。 床置きでスクリーンの裏側から映像を見るとときに選びます。 天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るとときに選びます。 天吊りして、正面から映像を見るとときに選びます。



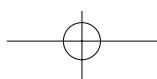
- ランプモードは電源を入れた時、「標準」モードで起動します。「低」モードで設定している場合、約1分で「低」モードに切換わります。
- ランプモードを切換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切換えないでください。ランプの寿命が短くなる場合があります。

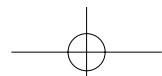
## オプションメニュー

設定項目	設定	はたらき
メニュー位置	左上、右下	メニューの表示位置を切換えます。
シネマモード	AUTO OFF	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。 フィルムモード処理は行いません。
信号判別	AUTO、NTSC、PAL他	ビデオ信号のカラー方式を選択します(通常はAUTOに設定します)。
スクイーズ	OFF ON	通常はこちらに合わせます。 スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときはこちらに合わせます。 台形補正時には、本設定項目は選択できません。(「OFF」のままで)
パスワードロック	キー操作	パスワードロック機能の設定解除に使います(26ページ参照)。
言語選択	10言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
RESET ALL	OK	ENTERボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします(言語選択、およびパスワードロックを除く)。



- 信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。





## 信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
水平位置	0 ~ 999 *	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0 ~ 999 *	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0 ~ 31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0 ~ 9999 *	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	RGB	通常はこちらに合わせます。R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YCBCR/YPBPR	Y,CB,CRコンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤーまたはY,PB,PRコンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤーなどで480p(525p)信号を入力するときは、こちらに合わせます。
セットアップ	OFF 3.75%, 7.5%	国内盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。 米国盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
上部曲がり補正	OFF ON <input checked="" type="checkbox"/>	上部曲がりに対する調整をおこないません。 画面に上部曲がりがおこったときに調整します。
詳細設定	OK <input checked="" type="checkbox"/>	ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。



## 詳細設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。通常、さわらないでください。

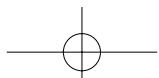
設定項目	設定	はたらき
クランプ位置	0 ~ 63 *	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1 ~ 63 *	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。



- \*マークのある項目は他の設定によって設定範囲が変化します。

設定・調整する

メニューを使って設定する



# 映像を調整する

## 映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押す
  - 「コントラスト」または「ブライト」を選びます。



- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する

コントラスト	▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしつとります。
ブライト	▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。 ◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

## 白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)の調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ
- 3 ◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ
- 4 ENTERボタンを押す
  - 色温度の詳細メニューが表示されます。



- 5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ
- 6 ◀、▶ボタンを押して設定する
- 7 操作⑤、⑥を繰り返して設定する
- 8 MENUボタンを3回押す

## 色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。

- 色温度を高くするには  
コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。
- 色温度を低くするには  
コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。

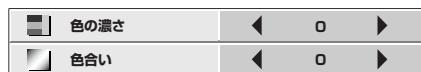
## 色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)

- 2 ▲、▼ボタンを押す

- 「色の濃さ」または「色合い」を選びます。



- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する

色の濃さ	▶ボタンを押すごとに色が濃くなります。 ◀ボタンを押すごとに色が薄くなります。
色合い	▶ボタンを押すごとに肌色が緑がかります。 ◀ボタンを押すごとに肌色が紫がかります。

- 「色合い」は、NTSC、4.43NTSC時の場合はたらきます。

## 映像をくっきりさせたり、ソフトにする (シャープネス)

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

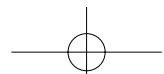
- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)

- 2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ



- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する

- 信号の種類によって、選択できないことがあります。



## コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITIONボタンを押してください(14ページ参照)。それでも正しく投写されないときはメニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整します。また、設定した内容は自動的に記録されます。

### メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは以下の様に調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**  
信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**  
信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼける**  
信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**  
信号設定メニューの分周比を調整します。
- **画面が白く(または黒く)つぶれる**  
信号設定メニューの詳細設定メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。  
※ 信号設定メニューの中の詳細設定メニューの設定は通常、変更しないでください。
- **画面に上部曲がりがおこる**  
信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON」にしてENTERボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。

### 簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

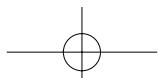
- 1 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。
- 2 操作1を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整:

- 3 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

設定・調整する

映像を調整する



# パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。

## キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります(リモコンのボタン操作はできます)。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

### パスワードロックの設定のしかた

- 1 オプションメニューを表示させる
- 2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

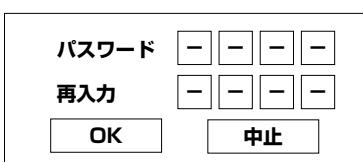


- 3 ENTERボタンを押す
- パスワードロック画面(設定用)が表示されます。



- すでにパスワードが設定されているときは、ENTERボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

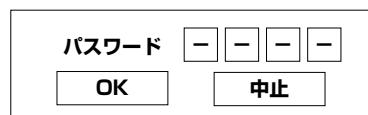
- 4 ENTERボタンを押す
- パスワード入力画面が表示されます。



- 5 ▲または▼ボタンを押して0~9を選択する
- 6 ▶ボタンを押す
- 次の桁の設定ができるようになります
- 7 操作[5]、[6]を繰り返してパスワード(4桁)を設定する
- 8 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する
- 9 ▶ボタンを押してOKを選択してからENTERボタンを押す
- 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合はエラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、▶を押して中止を選択してからENTERボタンを押します。またはMENUボタンを押してパスワード入力画面を閉じます。

### パスワードロックの解除のしかた

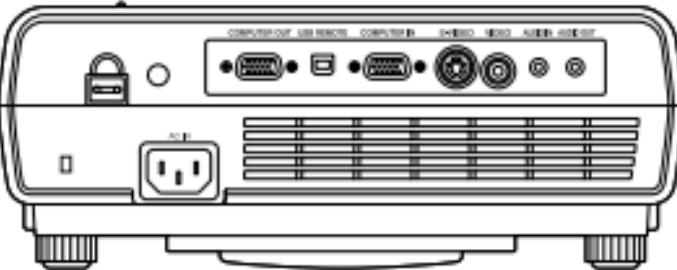
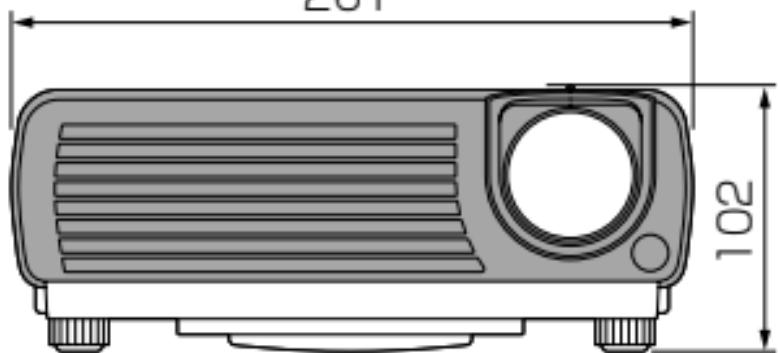
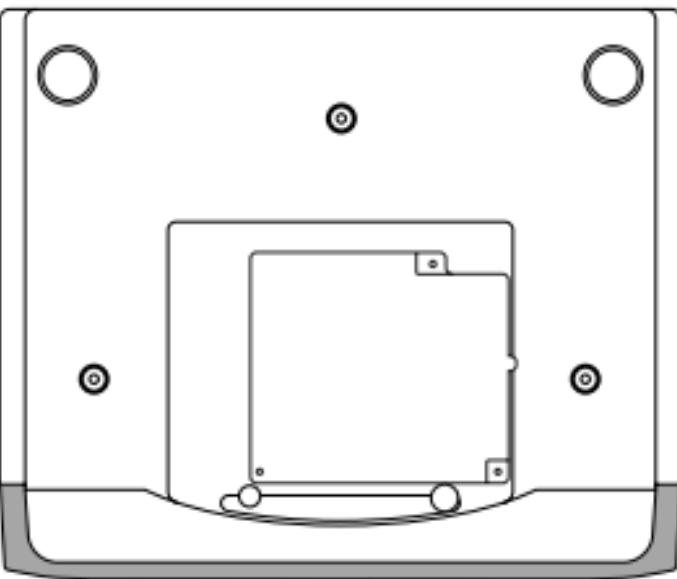
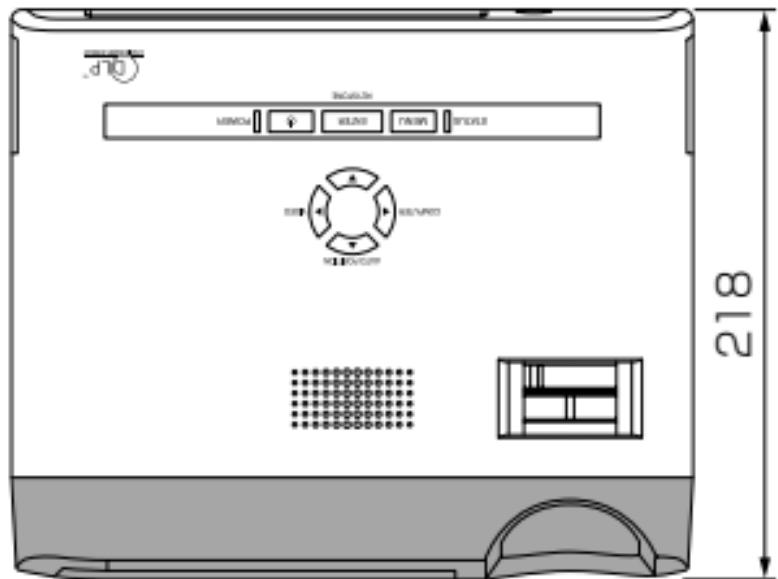
- 1 オプションメニューを表示させる
- 2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する
- 3 ENTERボタンを押す
  - パスワードロック画面(解除用)が表示されます。
- 4 ENTERボタンを押す
  - パスワード入力画面が表示されます。

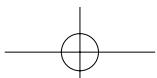


- 5 ▲または▼ボタンを押して0~9を選択する
- 6 ▶ボタンを押す
  - 次の桁の設定ができるようになります。
- 7 操作[5]、[6]を繰り返してパスワード(4桁)を設定する
- 8 ▶ボタンを押してOKを選択してからENTERボタンを押す
  - 誤ったパスワードを入力した場合はエラーメッセージが表示されます。
  - パスワード解除を取り消したいときは、▶を押して中止を選択してからENTERボタンを押します。またはMENUボタンを押してパスワード入力画面を閉じます。

### パスワードを忘れたときは

本体操作パネルのMENUボタン、およびENTERボタンを同時に押して、パスワードを解除してください。





# 光源ランプを交換する

本機には、DMDの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。

本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプは、必ず別売の専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**EDP-XD205R用光源ランプ**

形名:VLT-XD205LP

## ⚠ 警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を販売店にご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持つていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがのおそれがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約90秒間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって充分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本機内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、必ず本体をうらがえしにし、光源ランプの取っ手を持っておこなってください。ガラス片でけがの恐れがあります。販売店に光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。

## ⚠ 注意

本機は光源ランプの使用時間がシャットダウン予告時間<sup>※1</sup>を越えるとSTATUSインジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に1分間メッセージが表示されます。シャットダウン警告時間<sup>※1</sup>を越えると以後20時間おきに画面上に1分間ランプ交換メッセージ(LAMP EXCHANGE)が表示されます。また、光源ランプの使用時間がシャットダウン時間<sup>※1</sup>を越えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換するまで使用することができなくなります。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプは個体差や使用条件によって破裂や不点灯に至るまでの時間はそれぞれの高圧水銀ランプで大きな差があります。従いまして、使用開始後もない場合でも破裂することがあります。

また、寿命が近づくと破裂する可能性が高くなります。

- シャットダウン予告が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも新しい光源ランプに交換することをお勧めします。
- 高圧水銀ランプ破裂のとき、ランプBOX部内、外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。

\*1 ランプシャットダウンまでの使用時間(ランプモード「低」使用時)。

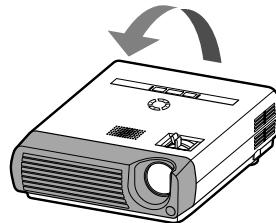
EDP-XD205R

シャットダウン予告時間	2250時間
シャットダウン警告時間	2850時間
シャットダウン時間	3000時間

注) ランプモードを「標準」にした場合のシャットダウン時間は2000時間です。(「低」にした場合よりも時間が短くなります)。

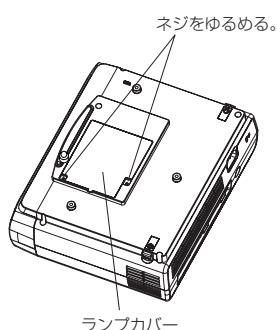
## ランプ交換のしかた

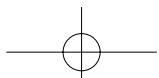
### 1 セットをうらがえす



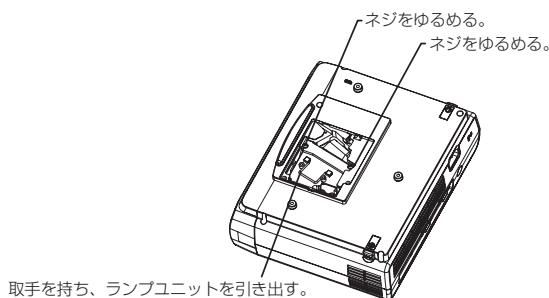
- 製品が動かないように安定させてから作業してください。

### 2 ランプカバーの固定ネジ(2本)をゆるめ、ランプカバーを本体から取外す



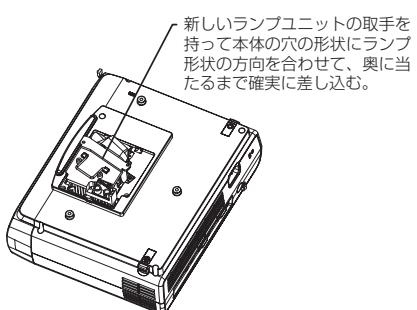


3 ランプユニットの固定ネジ(2本)をゆるめ、ランプユニットの取手を持ってランプユニットを取り出す



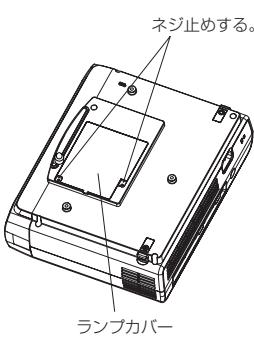
- ランプユニットを本体から抜き出す際は、ゆっくりとおこなってください。電球部が破裂している場合は急に抜き出しますとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや、燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

4 新しいランプユニットを挿入する



5 ランプユニットを固定ネジでしっかりと締める

6 ランプカバーを本体に差し込み、ランプカバーの固定ネジでしっかりと締める

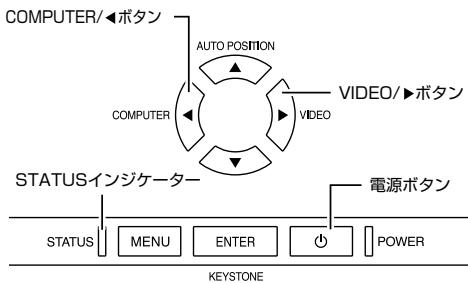


- ランプカバーがはずれているとPOWERインジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

## ランプ使用時間をリセットする

10 電源プラグをコンセントに接続する

11 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および電源ボタン(○)を同時に押す

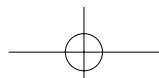


- 3つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- STATUSインジケーターが赤色に2回点滅し、リセットされたことをご確認ください。
- ランプ使用時間がシャットダウン時間\*を越えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプを交換をしていないときは使用時間をリセットしないでください。

\* シャットダウン時間については28ページ参照

その他

光源ランプを交換する

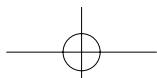


# 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にご連絡ください。

## 映像が映らない

現象	確認/処置																		
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>● インジケーターの光りかたを確認する。<table border="1"><thead><tr><th>□ POWER□</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr></thead><tbody><tr><td>□ 消灯</td><td>□ 消灯</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コードを本機に接続する。</li><li>● 電源プラグをコンセントに接続する。</li></ul></td></tr><tr><td rowspan="3">■ 赤点灯</td><td>□ 消灯</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。<ol style="list-style-type: none"><li>1. 電源プラグをコンセントから抜く。</li><li>2. 本体が冷めているのを確認する。</li><li>3. 電源プラグをコンセントに接続する。</li><li>4. 電源ボタンを押す。</li></ol></li></ul></td></tr><tr><td>□ ごく赤 オレンジ点滅</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。</li><li>● 暖房の吹き出しが、排気口にからないようにする。</li></ul></td></tr><tr><td>□ ごく赤 緑点滅</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。<ul style="list-style-type: none"><li>● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続した時、約1分間点灯できなくなる場合があります。</li><li>● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。</li></ul></li><li>● 数回電源ボタンを押す。</li></ul></td></tr><tr><td rowspan="2">■ ごく赤 赤/緑点滅</td><td>□ 消灯</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>● 裏面のランプカバーを取り付ける。</li></ul></td></tr><tr><td>■ 点灯 または □ ごく 点滅</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。</li></ul></td></tr></tbody></table></li></ul>	□ POWER□	STATUS	処置	□ 消灯	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コードを本機に接続する。</li><li>● 電源プラグをコンセントに接続する。</li></ul>	■ 赤点灯	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。<ol style="list-style-type: none"><li>1. 電源プラグをコンセントから抜く。</li><li>2. 本体が冷めているのを確認する。</li><li>3. 電源プラグをコンセントに接続する。</li><li>4. 電源ボタンを押す。</li></ol></li></ul>	□ ごく赤 オレンジ点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。</li><li>● 暖房の吹き出しが、排気口にからないようにする。</li></ul>	□ ごく赤 緑点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。<ul style="list-style-type: none"><li>● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続した時、約1分間点灯できなくなる場合があります。</li><li>● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。</li></ul></li><li>● 数回電源ボタンを押す。</li></ul>	■ ごく赤 赤/緑点滅	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>● 裏面のランプカバーを取り付ける。</li></ul>	■ 点灯 または □ ごく 点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。</li></ul>
□ POWER□	STATUS	処置																	
□ 消灯	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コードを本機に接続する。</li><li>● 電源プラグをコンセントに接続する。</li></ul>																	
■ 赤点灯	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。<ol style="list-style-type: none"><li>1. 電源プラグをコンセントから抜く。</li><li>2. 本体が冷めているのを確認する。</li><li>3. 電源プラグをコンセントに接続する。</li><li>4. 電源ボタンを押す。</li></ol></li></ul>																	
	□ ごく赤 オレンジ点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。</li><li>● 暖房の吹き出しが、排気口にからないようにする。</li></ul>																	
	□ ごく赤 緑点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。<ul style="list-style-type: none"><li>● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続した時、約1分間点灯できなくなる場合があります。</li><li>● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。</li></ul></li><li>● 数回電源ボタンを押す。</li></ul>																	
■ ごく赤 赤/緑点滅	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>● 裏面のランプカバーを取り付ける。</li></ul>																	
	■ 点灯 または □ ごく 点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。</li></ul>																	
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"><li>● MUTEボタンを押してAVミュートの設定をはずす。</li><li>● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。</li><li>● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。</li><li>● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。</li><li>● ランプカバーが閉まっているか確認する(28ページ参照)。</li><li>● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。</li><li>● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。</li><li>● レンズキャップをはずす。</li></ul>																		
映像が突然消える	<ul style="list-style-type: none"><li>● 吸気口、排気口がふさがれているときになりますことがあります。(このときSTATUSインジケーターはオレンジ点滅しています) →吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。<ol style="list-style-type: none"><li>1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ (STATUSインジケーターが消灯するまで待つ)。</li><li>2. 電源プラグをコンセントから抜く。</li><li>3. 約10分ほど待つ。</li><li>4. 電源プラグをコンセントに接続する。</li><li>5. 電源ボタンを押す。</li></ol></li><li>● STATUSインジケーターが赤点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。</li></ul>																		
「入力信号がありません」が表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。</li><li>● 外部機器の信号が出力されているか確認する。(特にノートタイプのコンピュータの場合)</li><li>● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。</li><li>● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。</li><li>● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。</li><li>● RGB接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。</li></ul>																		



## 映像がおかしい

現象	確認/処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	<ul style="list-style-type: none"><li>外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。</li><li>外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。</li><li>AUTO POSITIONボタンを押す。</li><li>コンピュータの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する(25ページ参照)。</li></ul>
映像がひずむ	<ul style="list-style-type: none"><li>本機と投写面が直角になるように調整する(14ページ参照)。</li></ul>
映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"><li>画質メニューのライトの調整をする(24ページ参照)。 ● レンズキャップをはずす。</li><li>ランプを交換する(28ページ参照)。</li></ul>
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスを合わせる。(13、18ページ参照) ● レンズをきれいに拭く。</li><li>レンズキャップをはずす。 ● リモコンの◀、または▶ボタンを押してちらつきをなくす。</li><li>画質メニューのライトおよびコントラストの調整をする(24ページ参照)。</li><li>本機と投写面が直角になるように調整する(14ページ参照)。</li></ul>
映像に光る点が見える 映像に黒い点が見える	<ul style="list-style-type: none"><li>DLPプロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 (一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。 99.99%以上は有効な画素数です。)</li></ul>
映像に細かい縞模様 が見える	<ul style="list-style-type: none"><li>スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。</li></ul>
映像(および音声)が 乱れる	<ul style="list-style-type: none"><li>外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。</li><li>妨害電波を発信している機器から遠ざける。</li><li>入力信号によっては、台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。</li></ul>
色合いがおかしい	<ul style="list-style-type: none"><li>信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が正しく設定されているか確認する(23ページ参照)。</li><li>外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。</li></ul>
コンピュータの動画部分 だけが表示できない	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピュータの問題です。コンピュータメーカーにお問い合わせください。</li></ul>
映像がにじむ	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピュータの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる(34ページ参照)。</li><li>コンピュータの出力解像度の変更については、コンピュータメーカーにお問い合わせください。</li><li>台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。このような場合、台形補正を使用せずにご使用ください。</li></ul>

## その他

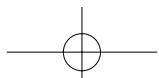
現象	確認/処置
排気口から温風が出る	<ul style="list-style-type: none"><li>本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることがありますが故障ではありません。</li></ul>
外部音声出力がない	<ul style="list-style-type: none"><li>音量設定が小さくなっているか確認する。</li></ul>
メニュー設定ができない	<ul style="list-style-type: none"><li>ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。</li></ul>
画面上に「温度異常！！」 が表示(点滅)がされる	<ul style="list-style-type: none"><li>周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。</li><li>吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。</li></ul>
①マークが表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>動作しない操作をおこなったときに表示されます。故障ではありません。</li></ul>
リモコンが効かない・ 効きにくい	<ul style="list-style-type: none"><li>電池が消耗していないか確認する(2、10ページ参照)。</li><li>リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する(10ページ参照)。</li><li>リモコンの操作範囲から外れてませんか(10ページ参照)。</li></ul>
本体操作パネルのボタン (電源ボタンを除く)が はたらかない。	<ul style="list-style-type: none"><li>オプションメニューのパスワードロック機能が設定されています。 →設定を解除する。</li></ul>
異音がする	<ul style="list-style-type: none"><li>カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がすることがありますが故障ではありません。</li></ul>

ランプ交換のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認/処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>裏面のランプカバーをきちんと取り付ける。</li><li>ランプ使用時間をリセットする(29ページ参照)。</li></ul>
STATUSインジケーターが点滅する	<ul style="list-style-type: none"><li>ランプ使用時間をリセットする(29ページ参照)。</li></ul>

その他

故障かなと思ったら



# 索引

## A行

- アフターサービス ..... 35  
色合い ..... 21, 24  
色温度 ..... 21, 24  
色の濃さ ..... 21, 24  
オートパワーオフ ..... 22  
オートパワーオン ..... 22  
オプションメニュー ..... 22

## K行

- 画質メニュー ..... 21  
乾電池を入れる ..... 2  
ガンマモード ..... 21  
クランプ位置 ..... 23, 25  
クランプ幅 ..... 23, 25  
言語選択 ..... 22  
コントラスト ..... 21, 24  
コンピュータとの接続 ..... 11

## S行

- 上部曲がり補正 ..... 23, 25  
シャープネス ..... 21, 24  
仕様 ..... 33  
詳細設定メニュー ..... 23  
信号設定メニュー ..... 23  
信号判別 ..... 22  
接続  
  コンピュータ ..... 11  
  ビデオ機器 ..... 17  
DVD プレーヤ ..... 17  
ハイビジョンデジタルチューナー ..... 17  
接続できる信号の種類 ..... 34  
設置メニュー ..... 22

## H行

- 台形補正 ..... 15  
投写角度の調整 ..... 14, 15  
投写距離 ..... 13  
パスワードロック ..... 26  
バックカラー ..... 22  
反転表示 ..... 22  
ビデオ機器との接続 ..... 17  
ピントの調整 ..... 13, 18  
付属品 ..... 2  
ブライ特 ..... 21, 24  
分周比 ..... 23, 25  
別売品 ..... 33

## M行

- メニュー位置 ..... 22  
メニュー設定のしかた ..... 21

## R行

- ランプカバー ..... 28  
ランプの交換 ..... 28  
ランプモード ..... 22  
リモコン受光部 ..... 10

## A

- AUTO POSITION ボタン ..... 8, 9, 14  
AV ミュート ..... 16

## C

- COMPUTER IN 端子 ..... 8, 11, 17  
COMPUTER ボタン ..... 8, 13

## D

- DVD プレーヤとの接続 ..... 17

## E

- ENTER ボタン ..... 8, 9, 21

## K

- KEYSTONE ボタン ..... 8, 9, 15

## M

- MENU ボタン ..... 8, 9, 21  
MONITOR OUT 端子 ..... 8, 11  
MUTE ボタン ..... 9, 16

## P

- POWER インジケーター ..... 8, 12, 18, 30、裏表紙

## S

- STATUS インジケーター ..... 8, 12, 18, 29, 30、裏表紙  
S-VIDEO IN 端子 ..... 8, 17

## V

- VIDEO ボタン ..... 8, 18  
VOLUME ボタン ..... 9, 14, 18  
VIDEO IN 端子 ..... 8, 17

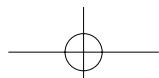
## 端子について

COMPUTER IN端子(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕様	PIN No.	仕様
1	R(RED)/Pr/Cr	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/Pb/Cb	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

MONITOR OUT端子(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕様	PIN No.	仕様
1	R(RED)/Pr/Cr	9	-
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/Pb/Cb	11	-
4	-	12	-
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	-
8	GND		



# 仕様

(仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。)

形式	EDP-XD205R			
表示方式	DLP™(単板DMD)			
光学方式	時分割色分離・合成方式			
表示素子	サイズ	0.55形DMD×1(枚)、アスペクト比4:3		
	画素数	786,432画素(1024×768)×1枚		
投写レンズ	焦点距離	f=18~21.6mm		
	F値	F2.4~F2.6		
光源	高圧水銀ランプ 205W			
画面サイズ(投写距離)	40形~300形(ワイド端のみ)、1.3~9.6m			
再現色数	1,677万色(フルカラー)			
音声出力	2W、モノラル			
スピーカ	口径φ4.5cm、個数1			
表示可能解像度	コンピュータ 信号入力時	最大入力解像度 パネル表示解	1280×1024ドット(圧縮表示) 1024×768ドット	
	ビデオ信号入力時		表示可能信号: NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC水平解像度: 600TV本(S端子入力時)	
	コンピュータ 入出力	映像入力	ミニD-Sub15ピン(RGBまたはY/Pb/PrまたはY/Cb/Cr信号対応)、1系統 · RGB: 0.7Vp-p 75Ω/1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) · Y: 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) · PbPr/CbCr: 0.7Vp-p 75Ω · HD/CS: TTLレベル(負または正極性) · VD: TTLレベル(負または正極性)	
ビデオ 入出力		音声入力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統 · 350mVrms 10kΩ以上(ビデオ入力と共有)	
		映像出力	ミニD-Sub15ピン(RGB/YPBPR/YCBCR出力)、1系統 · コンピュータ入力と同一の信号形式で出力	
		音声出力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(ビデオ出力と共有)	
ビデオ 出力	ビデオ入力	映像入力	RCA端子、1系統 · 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) S端子、1系統 · Y: 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) · C: 0.286Vp-p 75Ω(バースト信号)	
	音声入力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統 · 350mVrms 10kΩ以上(コンピュータ入力と共有)		
	ビデオ出力	音声出力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(コンピュータ出力と共有)	
制御入出力/その他	USB端子(Bタイプ): 1系統(ページアップ・ダウン用)			
使用温度(使用湿度)	使用温度範囲: 5~35℃(使用湿度範囲: 30~90%)			
電源	AC100V、50/60Hz			
消費電力	2.9A 280W			
外形寸法	W(幅)261mm×H(高さ)102mm×D(奥行き)218mm			
質量	2.4kg			

その他

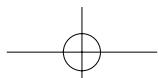
仕様  
引様

## 「JIS C 61000-3-2適合品」

: JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

## 別売品

光源ランプ EDP-XD205R (形名 VLT-XD205LP)

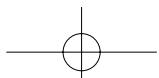


# 仕様(つづき)

## 接続できる信号の種類

信号表示	解像度 (H × V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	解像度(H × V)
				EDP-XD205R
TV60,480i(525i)	—	15.73	59.94	1024 × 768
TV50,576i(625i)	—	15.63	50.00	1024 × 768
1080i 60(1125i 60)	—	33.75	60.00	1024 × 576
1080i 50(1125i 50)	—	28.13	50.00	1024 × 576
480p(525p)	—	31.47	59.94	1024 × 768
576p(625p)	—	31.25	50.00	1024 × 768
720p 60 (750p 60)	—	45.00	60.00	1024 × 576
720p 50 (750p 50)	—	37.50	50.00	1024 × 576
PC98	640 × 400	24.82	56.42	1024 × 640
CGA84	640 × 400	37.86	84.13	1024 × 640
CGA85	640 × 400	37.86	85.08	1024 × 640
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	1024 × 768
VGA72	640 × 480	37.86	72.81	1024 × 768
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	1024 × 768
VGA85	640 × 480	43.27	85.01	1024 × 768
SVGA56	800 × 600	35.16	56.25	1024 × 768
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	1024 × 768
SVGA72	800 × 600	48.08	72.19	1024 × 768
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	1024 × 768
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	1024 × 768
×GA60	1024 × 768	48.36	60.00	1024 × 768
×GA70	1024 × 768	56.48	70.07	1024 × 768
×GA75	1024 × 768	60.02	75.03	1024 × 768
×GA85	1024 × 768	68.68	85.00	1024 × 768
S×GA70a	1152 × 864	63.85	70.01	1024 × 768
S×GA75a	1152 × 864	67.50	75.00	1024 × 768
S×GA60b	1280 × 960	60.00	60.00	1024 × 768
S×GA60	1280 × 1024	63.98	60.02	960 × 768
MAC13	640 × 480	35.00	66.67	1024 × 768
MAC16	832 × 624	49.72	74.55	1024 × 768
MAC19	1024 × 768	60.24	75.02	1024 × 768
MAC21	1152 × 870	68.59	74.96	1016 × 768
HP75	1024 × 768	62.94	74.92	1024 × 768
SUN66a	1152 × 900	61.85	66.00	984 × 768
SUN76a	1152 × 900	71.81	76.64	984 × 768

- 本機の最大解像度は1024×768ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G対応の信号は、映像が縁っぽくなることがあります(このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください)。
- SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れことがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080iはハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480i, 576i, 480p, 576pの5線(R, G, B, H, V)および4線(R, G, B, CS)出力機器について本機は対応していません。
- TV60とTV50はそれぞれ480iと576iと等価です。VIDEO端子あるいはS-VIDEO端子から入力された場合信号表示はTV60あるいはTV50となります。コンポーネント端子から入力された場合、表示は480iあるいは576iとなります。



# 保証とアフターサービス

## ■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 保証期間

お買上げ日から1年間です

但し、光源ランプは1年以内で500時間まで

- ランプ使用時間の確認方法

スタンバイ状態で、▲、▼ボタンを押しながら、電源ボタン(○)を押したとき、STATUSインジケーターが約5秒間、緑色に点灯すれば、ランプ使用時間は500時間以内です(ランプ使用中は点灯しません)。

### ◎ ご連絡いただきたい内容

1. 品 名 データプロジェクター
2. 形 名 EDP-XD205R
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

## ■補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、データプロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- DMD、カラーホイールなどの光学部品、および冷却ファンは寿命部品です。長時間業務用途に使う場合は修理・交換が必要になります。このような場合は販売店にご相談ください。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

- 販売店にご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

- ◎ 「故障かなと思ったら」の手順にしたがって、お調べください。
- なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にご連絡ください。

### ◎ 保証期間中は

修理に際ましては、保証書をご提示ください。  
保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

### ◎ 保証期間が過ぎているときは

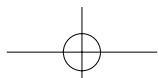
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

### ◎ 修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

その他

保証とアフターサービス  
様



# インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが2つあります。インジケーターの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことを調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にご連絡ください。

## 正常時

POWER	STATUS	状態	備考
■ 赤点灯	□ 消灯	電源スタンバイ状態	
	□=● 緑点滅	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
■ 緑点灯	□=● 緑点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	● 緑点灯	電源「入」（通常時）	

## 異常時

POWER	STATUS	状態	処置
■ 緑点灯 または ■ 赤点灯	□=● オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ・吸気口または排気口をふさいでいる。 ・暖房の吹出口など高温になる場所で使用している。	・ふさいでいる物をとる。 ・設置場所を変える。
■ 赤点灯	□=● 緑点滅	保護回路がはたらいている または ランプが異常	・STATUSインジケーターの緑点滅が消え てから電源ボタンを押す 上記の操作を数回おこなっても、光源ランプ が点灯しないときは、光源ランプを交換して ください。光源ランプのご購入は、お買い上 げの販売店へご依頼ください。
■ 緑点灯	■=■ 赤点滅	ランプ交換表示 <sup>※1</sup> （電源が「入」のとき）	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店 へご依頼ください。
■ 赤点灯	■=■ 赤点滅	ランプ交換表示 <sup>※1</sup> （電源が「切」のとき）	
	■=■ 赤点滅	ランプ交換表示 <sup>※2</sup>	
■=■ 赤点滅	消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる
	■ または □=● 点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買 い上げの販売店にご相談ください。

※1 約2250時間使用時  
ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。

※2 約3000時間使用時  
ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は約2000時間）。

### ● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

このデータプロジェクターの形名はEDP-XD205Rです。

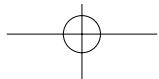
**ELMO** 株式会社 エルモ社

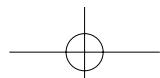
本 社 名 古 屋 市 瑞 穂 区 明 前 町 6 番 1 4 号 (052)811-5131 〒467-8567

東京支店	東京都港区三田3丁目12番16号山光ビル4階	(03)3453-6471	〒108-0073
名古屋支店	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	(052)824-1571	〒467-8567
大阪支店	大阪市中央区東高麗橋2番4号	(06)6942-3221	〒540-0039
九州支店	福岡市博多区冷泉町2番8号朝日プラザ祇園2階	(092)281-4131	〒812-0039
北海道営業所	札幌市中央区北四条西15丁目1番40号	(011)631-8636	〒060-0004
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号エノトセーフビル2階	(022)266-3255	〒980-0021
広島営業所	広島市中区小町5番8号広島ドルチェ2階	(082)248-4800	〒730-0041

URL:<http://www.elmo.co.jp>

\*所在地電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。





**MEMO**

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

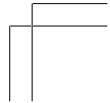
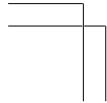
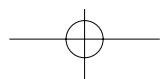
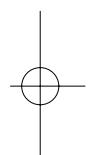
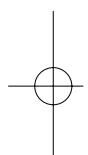
---

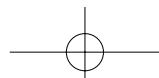
---

---

---

---





**MEMO**

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

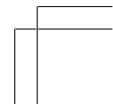
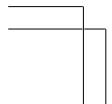
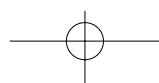
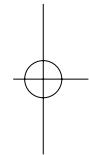
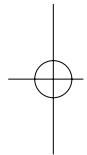
---

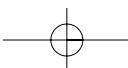
---

---

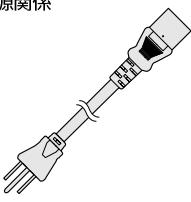
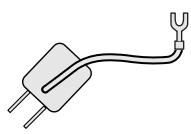
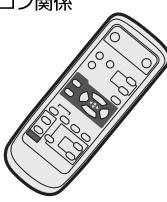
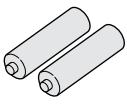
---

---

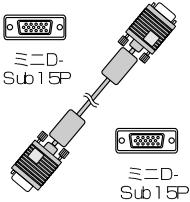




## 付属品

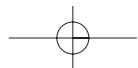
<b>■電源関係</b>			<b>■リモコン関係</b>		
電源コード	変換アダプタ		リモコン		単三乾電池 (2本)

<b>■映像関係</b>			<b>■その他</b>	
ビデオケーブル		RGB信号ケーブル	・レンズキャップ ・取扱説明書／クイックスタートアップ ・保証書 ・ソフトキャリングケース	

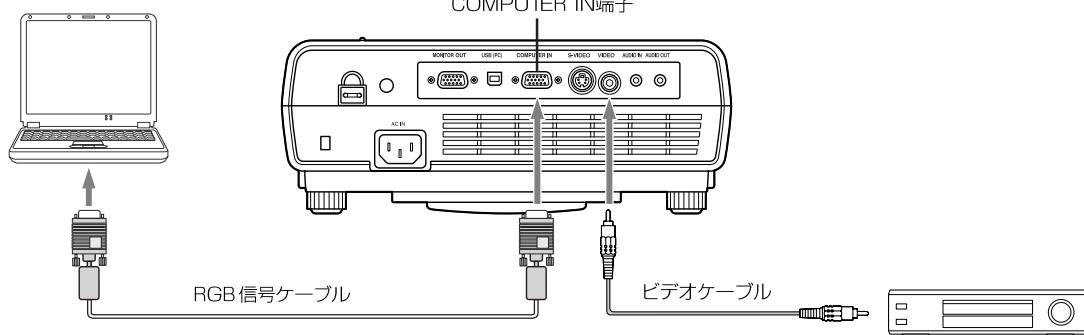
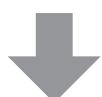
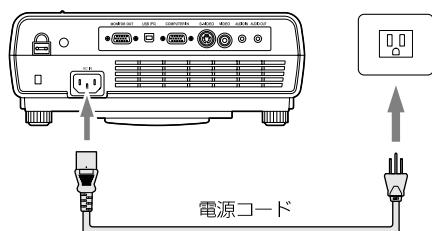
## 故障かなと思ったらー映像が映らない

現象	確認／処置																		
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インジケーターの光りかたを確認する。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>POWER</th> <th>STATUS</th> <th>処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□ 消灯</td> <td>□ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードを本機に接続する。</li> <li>● 電源プラグをコンセントに接続する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">赤点灯</td> <td>□ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。</li> <li>1. 電源プラグをコンセントから抜く。</li> <li>2. 本体が冷めているのを確認する。</li> <li>3. 電源プラグをコンセントに接続する。</li> <li>4. 電源ボタンを押す。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>□ ごく オレンジ点滅</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。</li> <li>● 暖房の吹き出しが、排気口にかかるないようにする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>□ 緑点滅</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。           <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続した時、約1分間点灯できなくなる場合があります。</li> <li>● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。</li> </ul> </li> <li>● 数回電源ボタンを押す。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">赤/緑点滅</td> <td>□ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>□ または □ 点滅</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 裏面のランプカバーを取り付ける。</li> <li>● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	POWER	STATUS	処置	□ 消灯	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードを本機に接続する。</li> <li>● 電源プラグをコンセントに接続する。</li> </ul>	赤点灯	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。</li> <li>1. 電源プラグをコンセントから抜く。</li> <li>2. 本体が冷めているのを確認する。</li> <li>3. 電源プラグをコンセントに接続する。</li> <li>4. 電源ボタンを押す。</li> </ul>	□ ごく オレンジ点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。</li> <li>● 暖房の吹き出しが、排気口にかかるないようにする。</li> </ul>	□ 緑点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。           <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続した時、約1分間点灯できなくなる場合があります。</li> <li>● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。</li> </ul> </li> <li>● 数回電源ボタンを押す。</li> </ul>	赤/緑点滅	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。)</li> </ul>	□ または □ 点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 裏面のランプカバーを取り付ける。</li> <li>● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。</li> </ul>
POWER	STATUS	処置																	
□ 消灯	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードを本機に接続する。</li> <li>● 電源プラグをコンセントに接続する。</li> </ul>																	
赤点灯	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。</li> <li>1. 電源プラグをコンセントから抜く。</li> <li>2. 本体が冷めているのを確認する。</li> <li>3. 電源プラグをコンセントに接続する。</li> <li>4. 電源ボタンを押す。</li> </ul>																	
	□ ごく オレンジ点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。</li> <li>● 暖房の吹き出しが、排気口にかかるないようにする。</li> </ul>																	
	□ 緑点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。           <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続した時、約1分間点灯できなくなる場合があります。</li> <li>● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。</li> </ul> </li> <li>● 数回電源ボタンを押す。</li> </ul>																	
赤/緑点滅	□ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。)</li> </ul>																	
	□ または □ 点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 裏面のランプカバーを取り付ける。</li> <li>● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。</li> </ul>																	
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MUTE ボタンを押してAVミュートの設定をはずす。</li> <li>● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。</li> <li>● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。</li> <li>● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。</li> <li>● ランプカバーが閉まっているか確認する。</li> <li>● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。</li> <li>● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。</li> <li>● レンズキャップをはずす。</li> </ul>																		

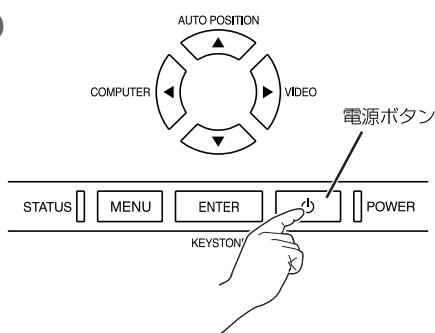

**ELMO**

データプロジェクター 形名：EDP-XD205R

## クイックスタートアップ

**1****2****5**

ノートタイプのコンピュータの映像が映らないとき  
[Fn] キー + [F1] ~ [F12] キーの  
いずれか（機種によって異なる）を押す。

**3****4**